

豊かな自然と人情あふれる一光の里 — 「地域は家族」 公民館は住民のよりどころ —

一光公民館

1 地区の概要

一光地区は福井市の西に位置し、国見岳と大芝山を源流とした一光川に沿って、上一光・下一光・五太子の三集落が点在している。四方を山に



【大芝山のミズバショウ】

囲まれ、四季折々に恵まれた自然を満喫できる山里である。大芝山には、日本の南限にあたるミズバショウの群生地があり、一光川の上流には「五太子の滝」がある。この滝は、落差が20メートル、幅3メートルで、豊かな水量が大きな音を立てて、流れ落ちることから「鳴滝」とも呼ばれている。さらに、国見岳には市民の憩いの場として、国見岳森林公園が整備され春から秋の行楽期間中はキャンプやバーベキュー等で賑っている。

「一光」という地名は、大和の国吉野郡川上村の井光（いひかり・いかり）を祖神と仰ぐ吉野族が水銀採取を目的に移り住んだことによりできたものと言われている。また、「五太子」の名前の由来は、応神天皇の末裔である、五人の太子が都から移り住んだことに因んでいる。

以前は、林業・農業を中心として、和紙の原料となる楮（こうぞ）、三叉（みつまた）の栽培・炭焼き・山菜の採集等を生業としていたが、平成4年に一光小中学校が休校となってからは、急速に過疎化が進んできた。平均年齢は80歳に近く、超高齢化地区になっている。

住民は純朴で人情に厚く勤勉であり、地区や公民館の各事業には、ほぼ100%参加するなど公民館を唯一の安らぎの場として楽しんでいる。現在は、世帯数23戸で人口は41人である。

2 「地域は家族」 住民総参加の事業

一光地区の各事業は、全てが公民館を核として行われている。欠席者が出れば、事業が成り立たない

のが実情であるため、公民館の教育事業に組み込み、住民総参加で実施している。

(1) ふるさと運動会&敬老会

「ふるさと運動会」は、過疎化で子どもの人数が減り、学校だけで運動会ができなくなったことから、平成2年に地区と学校の合同で始まった。平成4年に学校が休校となり、地区内に子どもが一人もい



なくなってしまうから、思い出の場である一光小中学校の体育館で、毎年10月に開催している。

【おかえりなさい】

【孫とパン食い競争】

「ふるさと運動会」の名称は、「ふるさとを懐かしく思い、帰ってきてほしい」という思いが込められている。平成27年度は第26回を数え、当地区にはなくてはならない恒例行事となっている。

地区外に転居した人や一光にゆかりのある人にも案内状を送り、参加を呼びかけている。そのため、地区住民だけでなく、息子家族や娘家族、元住民などが集い、参加者100名以上の大運動会になる。この日だけは、普段は静かな一光の谷に子どもの声が響き渡る。大人たちは久しぶりの再会に昔話や持ち寄った懐かしい食べ物の自慢などの話に華を咲かせ、笑顔と歓声の絶えない一日となっている。「敬老会」も同時に開催し、対象の方に大変喜ばれている。

平成27年度は、年々体が動きづらくなる高齢者のため、綱引きや障害物競争などを取りやめて、豆つまみ競争など、軽めの競技を設定した。この傾向

は、今後も続いていくことになる。

元住民などに案内を出している効果も徐々に表れてきており、今後も、多数の参加を得て、盛大な大会になるようにしていきたい。

(2) 公民館ふれあい福祉まつり

第18回 地域は家業
公民館ふれあい福祉まつり

日 時：平成27年11月1日(日)
午前10時～午後3時まで
場 所：福井市一光公民館 全館

開会式
1. 開会の辞
2. 市民会堂合唱
3. 主催者の挨拶
4. 実行委員
5. 閉会の辞

赤い羽根共同募金
皆さんご協力ください

展示コーナー
活動写真パネル展示
ディナー・成人・婦人学級、体操、地域づくりなど
地域の皆さんの趣味の作品
介護用品の展示

体験コーナー (すべて無料です)
血圧測定及び介護相談コーナー 10時半～
針灸マッサージコーナー 10時45分～
お茶は待機

ステージコーナー
介護の歌謡(清水 隆仁さん) 10時20分～
かべの鶴・オガケ舞(獅子丸三井夫妻) 10時45分～
餅つき 13時20分～
子ども英語 13時40分～
法話(松本 重雄さん) 14時ごろ～
ビンゴゲーム

主催：一光地区社会福祉協議会
共催：福井市社会福祉協議会、一光公民館
協力：さくらの丘介護相談センター
福井市高齢者福祉センター
福井市針灸・マッサージ協会

食べ物コーナー AM11:30～
焼き鳥(秋吉) 10本 600円
せんざい(あったかい) 1杯 100円
ジャガバター 1冊 無料
おにぎり

◎ 商品を準備していますので是非お越しください。
◎ 焼き鳥は福祉委員がご注文を承りにお伺いいたします。

11月には、公民館が企画・準備・運営する「公民館ふれあい福祉まつり」が、公民館を会場に開催される。毎年、アトラクション等を地区住民が楽しみにしていて、内容の工夫を心がけている。

昼食はおにぎりだけの準備であるが、地区社会福祉協議会からの料理の提供や各自が持ち寄った山菜料理や漬物などが豊富にあるので、参加者は、食べながら様々な話題で会話を楽しんでいる。

平成27年度は地区外の人を含め、65名の参加があった。地区外からの参加者がいることで、楽しさも増え、連帯感がさらに強くなっているようである。

(3) 草刈り奉仕作業

例年8月に、旧一光小中学校のグラウンドや校舎の周りの草刈り奉仕作業を行っている。元住民や地区外で暮らしている息子さんたちも参加しての作業で、当日都合の付かない人は事前に作業を行う。気温30度近い中で行われる作業であるが、毎年、高齢の方々が重い草刈機を軽々と操作していて、一光のお年寄りの真面目さと元気に敬服する。



3 健康長寿と伝統を守るために

(1) 歩こう会

秋の収穫前の体力づくりと栄養補給を目的に始められた事業である。今では、住民の心身保養と親睦を目的に変わりつつある。例年8月に国見岳森林公園で開催している。

高齢者ばかりの参加者であるが、元気で食欲も旺盛、終始世間話や昔話が華が咲いていた。

(2) 軽スポーツ大会

年間2回(5月と2月)、主にフロアカーリングに取り組んでいる。この大会は順位を競うものではなく、健康で楽しく仲間づくりをすることが目的で実施している。一回投げる度



に歓声があがり、大変賑やかな大会となっている。回を重ねてきているので、全員がルールや競技方法を理解していて、福井市老人クラブ連合会のスポーツ大会では、昨年も含めて6回の優勝を誇り、常時3位以内を維持している。

【フロアカーリング】

(3) 門松作りとかきもち作り

12月には、門松作り&クリスマス会を行っている。男性は門松を作り、女性はクリスマスツリーの飾り付けをする。かきもち作りは、1月の下旬に実施している。餅つきから始め、数日後に餅きり機でスライスしている。それぞれに、作業後には会食を行い、ふれあいを深めている。

4 終わりに

地区住民の郷土愛と元気に支えられ、多くの事業に取り組んできたが、年々、高齢化が進んできているため、できることが制限されてきている。公民館として、これまで以上に創意工夫を凝らし、住民同士のつながりを強くしていくことが大切である。

【元気に奉仕作業】

また、一光に関わりのある地区外に住む人々や近隣地区への呼びかけを強くし、つながりをより一層深めていながら、この地区の自然や伝統、住民の生活を守っていくことが重要であると考えている。



【住民の方々】

公民館が、地区住民の皆さんの「憩いの場」「安らぎの場」としての機能を十分に果たしてきていることに、公民館の原点を見る思いがします。また、地区の自然や伝統を守るために、様々な活動を通して、地区外の人たちも巻き込み、工夫と努力を重ねていることに強い感動を覚えました。

